

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院

呼吸器内科，感染症科

研究責任者： 嶋中 拓弥

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 急性呼吸不全患者の予後予測因子に関する後方視的検討

研究の目的

急性呼吸窮迫症候群（ARDS）などの急性呼吸不全の重症度と予後との関連についてはいくつか報告例があり、血液中の酸素不足が高度なほど死亡率が上昇するとする報告が多いものの、現時点では定まった見解は得られていません。

また重症の呼吸不全では肺の炎症から線維化に移行することが知られており、肺の高分解能 CT でもそれを反映して陰影が変化します。今回私たちは肺の線維化を定量的に評価できる専用の画像解析ソフトを用いて、陰影の変化と予後との関係性などについて研究を行います。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日

対象となる方 2016 年 1 月 1 日から 2028 年 12 月 31 日までに、当院集中治療室で治療を受け、ARDS の診断基準を満たした患者さんが対象となります。

利用させていただきたい試料・情報について

カルテに記録されている情報のうち、以下について標記研究のために利用します。

ICU 入室時年齢，性別，身長，体重，BMI，P/F 比，SpO₂，併存疾患，原疾患，直接肺障害の有無，敗血症有無，昇圧薬使用有無，免疫抑制療法有無，APACHE II スコア，SOFA スコア，喫煙歴，ICU 滞在日数，生存・死亡，死亡日，死因，呼吸管理の内容，血液検査データ，胸部画像。

なお，利用に当たっては氏名，住所，電話番号，患者番号等個人を特定できる情報を削除し，本研究のための固有の番号を付して（これを仮名化といいます），行います。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 呼吸器内科，感染症科 嶋中拓弥 〒036-8562 青森県弘前市在府町 5 連絡先電話番号 0172-39-5468 E-mail : stia1201@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---